

核兵器の廃絶・核戦争阻止・被爆者支援の運動を、あなたもごいっしょに

佐賀県原水協ニュース

2014年3月27日発行 佐賀県原水協事務局作成 第74号
事務局電話0952-31-7711 FAX0952-31-7713 (佐高教組内)
<http://www7b.biglobe.ne.jp/gensuikyosaga/>

核兵器廃絶署名 30分で105筆を集めました！ 佐賀市・願正寺にて 「神田香織講演会」にも参加

3月27日(木) 佐賀県原水協は佐賀市呉服元町にある願正寺にて核兵器廃絶署名行動をおこない、高教組・医療生協・新婦人・民青同盟から合計6名が参加しました。この日は、このお寺で「講談師・神田香織講演会 故郷フクシマを語る」がおこなわれ、来場した人たちに署名の協力を呼びかけました。



好天に恵まれ、境内に咲くしだれ桜も満開。どなたも署名に快く協力をしてくれるので、署名をとる方も心が弾みました。30分の活動で105筆を集約し、普段の街頭署名活動と比べたら約3～4倍の数が集まりました。

署名を集めた後は、講演会に参加しました。神田さんは「おいしい地元の魚を食べるとか、当たり前な生活が福島ではできない。病気の発症を恐れて放射能の影響を忘れさせようとする雰囲気があるのが実情なのです」と今の福島に住む人たちの様子を語り、はだしのゲンやチェルノブイリの講談の『抜き読み』がありました。チェルノブイリの消防士の妻の話は涙が出そうになりました。講演の最後は参加者と滑舌の練習。おかしいことはおかしいと声にあげていきましょうと締めくくりました。

明日は佐賀地裁で「玄海原発差し止め訴訟」の意見陳述に神田香織さんが立つことになっており、裁判所への傍聴活動や裁判所に入れられない方のための模擬法廷が県立美術館ホールでおこなわれます。原告団の数は現在7800人です。目標の1万人をめざして、原告を増やす活動にも積極的に取り組みましょう！

新婦人も頑張っていますよ

新婦人佐賀・大和支部は佐賀城下ひなまつり会場にて署名活動をおこない、6名の参加で1時間のうちに73筆を集めました。今週末には鹿島市でおこなわれる「酒蔵ツーリズム」の会場でも取り組むことにしています。